

**北海道企業局水力発電所による非FITの環境価値で  
全施設の電力使用におけるCO<sub>2</sub>排出実質ゼロを達成**  
～エネットの“EnneGreen”による環境価値の地産地消で「ゼロカーボン北海道」に貢献～

石屋製菓株式会社(本社:札幌市西区 代表取締役社長:石水 創)は、本年7月から弊社敷地内で使用する電力に対し、再生可能エネルギーである北海道企業局が運営する水力発電所(非FIT\*)の非化石証書を適用し、全施設の電力使用によるCO<sub>2</sub>排出量について実質ゼロを達成したことをお知らせします。

「地産地消の再生可能エネルギー価値を活用し、“ゼロカーボン北海道”に貢献する環境配慮型施設へ」

弊社は従来より、北海道での地域密着型電力会社・株式会社エゾデンを介し、大手新電力の株式会社エネット(以下エネット)と小売供給契約を締結しており、2022年7月より北広島工場、2022年9月からは宮の沢工場(工場棟、本社事務所棟、サッカー場 他)において、エネットの提供する再エネ導入支援メニュー「EnneGreen」を導入し、契約中の電気(主に天然ガス発電等の電気)に再生可能エネルギー指定の非化石証書を組み合わせることで、利用する電力の実質再生可能エネルギー(二酸化炭素排出量がゼロ)100%を推進していました。

さらに、本年4月から白い恋人パークの一部を皮切りに、7月には宮の沢地区および北広島工場において北海道企業局の水力発電所(非FIT\*)由来の非化石証書を適用した電気に切り替え、年間769トン排出していたCO<sub>2</sub>もゼロとすることで、弊社敷地内の全電力使用によるCO<sub>2</sub>排出量実質ゼロを実現したものです。

\* 国民(需要家)の皆さんの電気料金に含まれる「再生可能エネルギー発電促進賦課金」に頼らない運営をする発電所

<適用範囲>

- ・宮の沢地区(宮の沢工場、白い恋人パーク、本社事務所棟、宮の沢白い恋人サッカー場)
- ・北広島工場

<再生可能エネルギー転換の構図とCO<sub>2</sub>削減効果>

施設名	2022年		2023年	
	使用電力	CO <sub>2</sub> 排出	使用電力	CO <sub>2</sub> 排出
宮の沢工場・本社事務所棟・宮の沢白い恋人サッカー場 白い恋人パーク 中庭・からくり時計塔 チョコトピアファクトリー チョコトピアマーケット チョコトピアハウス チューダーハウス	主に天然ガス発電等の電気+ 再エネ指定の非化石証書		主に天然ガス発電等の電気 + 北海道水力発電所由来の 非FIT非化石証書	
	実質ゼロ		実質ゼロ	
	CO <sub>2</sub> 排出 (769トン/年)			
北広島工場	主に天然ガス発電等の電気+ 再エネ指定の非化石証書		実質ゼロ	

\* 赤枠内は2022年4月～2023年3月の実績値(化石燃料由来の電力)

当社は「しあわせをつくるお菓子」の企業理念のもと、“100年先も、北海道に愛される会社へ”という長期ビジョンの達成に向け、持続可能な事業活動を通じて、道の提唱する“ゼロカーボン北海道”に貢献してまいります。

**【本件に関するお問い合わせ先】**  
石屋製菓株式会社 社長室 広報CSR推進担当 : 亀村、遠藤  
TEL:090-2693-1485 E-mail:t.kamemura@ishiya.co.jp 、m.endo@ishiya.co.jp

<参考>

2023年7月からの主なEnneGreen導入施設



本社事務所棟



宮の沢工場が併設された白い恋人パーク



北広島工場



白い恋人パーク内「からくり時計塔」と宮の沢白い恋人サッカー場

